

# 新山下駅周辺地区

# まちづくり協議会ニュース

発行 / 新山下駅周辺地区まちづくり協議会 事務局 宮城大学 山元復興ステーション  
山元町山寺字山下 32 番地 TEL/FAX : 0223-23-1753



ゆづりゆたり  
かけがえのない一日を  
大切に過ごす為に...!!

## 協議会の今後の活動予定

新山下駅周辺まちづくり協議会では、今後、「まちなみづくり工夫集」の完成、「高齢者に暮らしやすいまちづくり」に関する提言、今後の協議会の進め方などを検討していく予定です。

まちなみづくり工夫集は、新市街地がより良いまちなみとなるよう昨年から検討してきた成果をまとめました。また、高齢者に暮らしやすいまちづくりについては、新市街地入居住民の半数近くが60歳以上である現状を受け止め、「今やらないといけない」という危機感を持って生活・福祉・医療サービスの充実したまちを提言したいと考えています。



<平成26年>

<平成27年>

協議会のスケジュール

10月

まちなみづくり工夫集  
高齢者に暮らしやすいまちづくり  
今後の進め方

11月

高齢者に暮らしやすいまちづくり  
今後の進め方

12月

高齢者に暮らしやすいまちづくり  
今後の進め方

1月

今後の進め方

2月

定期総会について

3月

定期総会

## 造成工事の今と新市街地の完成イメージ!!

写真①



写真②



新市街地のイメージパース



- ①新市街地から国道6号に接続する道路を作るための橋脚の様子
- ②文化財の調査が行われた近辺の様子

町が新市街地への移転希望者に配布した『宅地分譲・借地～申込みのご案内～』の表紙に掲載されたイメージパースです。

# 移転に関しての あんやとんや インタビュー



今回のインタビュー特集は、菅原啓造さん。  
震災前は、花釜地区にお住まいでしたが、今は、仙台のみなし仮設に居住。  
これからできる新しい公園で運動するのが楽しみとのことでした。



## Q1: 宅地が決まってどうですか？

A1: 安心しました。決まるまでは、毎週水曜日の申込状況を公民館へ見に行っていました。ただ、空いている宅地がどうなるのか心配です。

## Q2: 住宅再建に向けてどんなことをしていますか？

A2: 住宅展示場を見学したり、住宅メーカーに見積依頼をしています。来年7月の土地の引き渡しに向け、焦らずゆっくり考えています。

## Q3: どんな家をイメージしていますか？

A3: 1階建ての家にするか、2階建ての家にするか迷っています。水害への対策として、2階建ての家の方が逃げるができるなぁと考えています。ただ、妻と二人で住む家なのであまり大きな家はいらないとも考えています。また、趣味で家庭菜園をやりたいので、大きめの物置を敷地内に置きたいです。

## Q4: 新たな生活に向けて心配なことはありますか？

A4: 隣近所とのコミュニティが心配です。隣の家と自分の家の配置により、日照条件がどう影響を受けるかも考えます。お互いがどんな考えを持っているか、住む人同士が話し合えればいいと思います。

## つづやき コーナー

さあ！！いよいよ、  
住むところが決まってくるね。

さあ！！  
いよいよだね！

カーテンの丈？

山元町発行の「災害公営住宅～申込ご案内～」には、ガスコンロ・ガスホース・カーテン・照明器具・エアコンは自分で買いそろえるって書いてたね。

すでに、新山下駅周辺地区の災害公営住宅へ住んでいる人の話によると今までよりも長めの丈のカーテンが必要になるらしい？！って聞いたけど…。引っ越し費用の補助はあるけど、家具やカーペット、収納ケースも新たに必要になるのかなあ。40～50万円くらいお金がかかったという話も聞いたけど、今まで持家にしか住んだことがなくて借家に入るのは初めてだから、いろいろわからないことが多いなあ…。

収納スペースはどのぐらい？

借家は初めてだな～？

お金がかかるなあ…



## 会員募集中

## 編集後記



思いを語ってみませんか？

■協議会開催予定■

10月25日(土)

10:00～12:00

会場：(株)オオバ事務所内会議室

内容：まちなみづくり工夫集、  
高齢者に暮らしやすいまちづくり、  
今後の進め方

青空に鱗雲、秋風が気持ちよく感じられる今日、仮設住宅から終の棲家へと物事が動いている。まちづくり協議会活動も終盤にさしかかり、私達町民の声、提言書は生かされたのか？と疑問がある。とは言え、この活動が新しいコミュニティの土台になればいいのかも？

この先、生活の不安はあるものの、これからが本番「フレ～フレ～、山元町民!!」

災害で犠牲になられた方々には「住みいい町にすっから、力は貸してネ!」と心を込めて合掌。(広報F)